

巻頭言

2022年度公立大学協会図書館協議会（以下、「公大図協」と略します。）会長館として、会員加盟館の皆様にご多大な御協力をいただきましたことに対し、深くお礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度も総会及び拡大役員会の全てがオンライン開催となりました。各地区代表協議会や諸委員会の会議等についても、殆どがオンライン会議や電子メールによる審議で開催されましたが、3年の長きに渡るコロナ禍も終息に向かっており、近い将来、対面開催も期待できるところです。

また、今年度は、新たに川崎市立看護大学、三条市立大学、芸術文化観光専門職大学、周南公立大学が公大図協に入会してくださいました。加盟会員館が96校となり、大変喜ばしいこととございます。

公大図協は、より良い教育・研究支援を最終目的に、諸課題を相互の連携を深めて解決するための情報交換の場として1955年に設立されましたが、著作権法の改正に伴う対応を始め、大学図書館を取り巻く環境の変化は大きく、そのあり方を見直す時期に来ていると思われまします。

今年度は、昨年度まとめられた改革小委員会最終報告を受け、会長館を事務局として改革実施小委員会を設置し、会長館業務の委託、会議開催に関する規程類の改正、ホームページの改善、外部関係委員会への委員派遣等について検討を重ねてまいりました。なお、「公立大学図書館概要」の見直しについても検討の対象になりましたが、その活用状況を把握するため実施したアンケートには、多くの会員加盟館から御回答、御意見を賜りました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

今年度会長館を務めさせていただき、少しでも業務の改善ができればと努力いたしました。前会長館の熊本県立大学から引き継ぎました諸課題の全てにつきまして、解決に至ったわけではございませんが、一定の道筋を付けることは出来たと考えています。御多忙のところ、改革実施小委員会委員をお引き受けいただいた、東京都立大学、滋賀県立大学、大阪公立大学、神戸市外国語大学の4大学の皆様には、建設的な御意見をいただき、改革前進の歩を進めることができました。また、会員館の皆様には、貴重な御意見や温かい励ましのお言葉をいただきました。

お陰を持ちまして、この1年間、大過なく公大図協の運営を行うことができましたことに、改めて感謝申し上げます。

今後も、公大図協として、会員加盟館相互の情報共有・協力体制の充実に努めることにより、組織の存在意義を一層高めながら、活動を進めていけますようお願いしております。

会員加盟館の皆様におかれましては、今後とも引き続き公大図協の活動に御理解・御協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

2023年3月

公立大学協会図書館協議会

会長 愛知県立大学学術研究情報センター長
宇都宮 みのり